

古都奈良の夏 バサラ祭りで締めくくり

夏の終わりに開催されるイベント「バサラ祭り2024」(NPO法人バサラ衆主催)が8月24、25の両日、奈良市の春日大社参道や三条通りなどを舞台に開催された。会場のJR奈良駅前広場では、計19チームが踊りを披露して沸かせた。また、三条通り商店街周辺を練り歩き、古都奈良の夏を締めくくった。

祭りは、奈良の夏を締めくくるイベントとして平成11(1999)年からスタート。毎年8月最終の土、日曜日に開催される。新型コロナウイルス感染症拡大の影響から一時、オンライン配信での開催もされたが、今年で26回目を迎えた。

鎌倉、室町時代に流行した風潮で、音楽や舞楽などでわざと拍子はずし、自由に、目立つように演じる「婆娑羅(バサラ)」を祭りの名前に付けている。

祭りの初日は、関係者や出場チームが東大寺と春日大社を参拝。午後3時から、春日大社

チームに記念品が手渡された。同会場では、最初に「みつば屋」が演舞を披露。その後に出場の「スポーツクラブ葛城チア☆キユートリーズ」がメチャハッピー踊り子隊などが続き、計19チームの踊りで盛り上がった。

一の鳥居付近にあるクロマツ「影向之松(ようほうのまつ)」前で奉納演舞が披露された。このマツは、芸能の神の依代(よりしろ)であり、能舞台の鏡板に描かれているマツの絵のルーツになっているという。

翌日は、JR奈良駅前広場の観光案内所で開会式を開催。奈良商工高等学校の和太鼓部「和太鼓秋篠」による和太鼓演奏が、場を盛り上げた。その後、祭りへの出演回数5回ごとに踊り隊を表彰する「5年表彰」が行われ、バサラ衆の魚谷和良理事長から、15回目の「伊賀FCくノ一BLAST」と、20回目の「踊屋本舗」の2

迫力のある和太鼓演奏が辺りに2日目の開始を知らせた



JR奈良駅前
ステージ

先陣を切り迫力のある踊りで会場を盛り上げた「みつば屋」



「5年表彰」を受けた2チームと、魚谷理事長(左)



奈良市内各地で踊りを披露



出場チームの「旗の舞」で奉納演舞がスタート

影向之松
奉納演舞



影向之松(写真奥)の前で、踊りを一番手で披露した「てんやわん屋」



笑顔で踊りを披露した「FRE WAVE」(つばキッズ) 榎KID

春日大社参道
パレード



今回が初出場の「スポーツクラブ葛城チア☆キユートリーズ」

三条通り
パレード



大阪メチャハッピー祭のオフィシャルチーム「メチャハッピー踊り子隊」も参加